

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	01	194030	火災予防充実強化事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,350	1,497		147
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,350	1,497		147

特定財源の内訳

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	令和2年度	～	令和5年度
------	--	-------	---	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

市民の安心・安全な暮らしを火災や災害から守る。

事業開始の背景・経緯

火災の多くは不注意や誤った火の取り扱いから発生しているため、正しい取り扱いや消火方法等の火災予防を指導し、市民各々の防火意識の向上を図る必要がある。

事業概要

- 防火対象物への査察、違反是正、防火管理指導の実施 464千円
防火管理新規、再講習の開催、各種訓練指導
- 市民を対象とした防火意識の普及啓発の推進 250千円
火災予防運動時、火災多発期の防火意識普及啓発広報の実施
- 消防フェスティバル等火災予防啓発イベントの実施 27千円
消防演習、秋季火災予防運動時にイベントの実施
- 幼年少年消防クラブ防火活動の推進 258千円
絵画展、作品展、少年消防クラブリーダー研修会の実施
- 職員の教育研修 498千円
消防大学校入校、岩手県消防学校入校、その他の研修会受講

担当部署	31100000	消防本部	消防本部	担当課長	小原 敏裕
------	----------	------	------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 火災予防充実強化事業費 1,497千円
1. 防火対象物等への査察、違反是正、防火管理指導の実施 464千円
 - ・ 防火管理新規、再講習（会場借上料、講習会テキスト）
 - ・ 火災調査資器材（火災調査用機材更新）
 2. 市民を対象とした防火意識の普及啓発の推進 250千円
 - ・ 火災予防運動広報用資材（春・秋季火災予防運動啓発ポスター制作）
 - ・ 火災多発期用広報資材（市民配布用広報資材）
 3. 消防フェスティバル等火災予防啓発イベントの実施 27千円
 - ・ 来場記念品等（秋季火災予防運動時開催）
 4. 幼年少年消防クラブ防火活動の推進 258千円
 - ・ 絵画展、作品展等（作品展・絵画展用消耗品、資材）
 5. 職員の教育研修 498千円
 - ・ 岩手県消防学校、その他研修会（旅費、図書教材費等）

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	02	194040	消防指令業務共同運用事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	14,244		14,244
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	12,800		12,800
	一般財源	0	1,444		1,444

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	令和4年度 ~ 令和8年度
------	--	-------	---	------	---------------

部重点施策における目標

市民の安心・安全な暮らしを火災や災害から守る。

事業開始の背景・経緯

消防指令業務の共同運用について、県内10消防本部により協議を行うことが決定したことから、「いわて消防通信指令事務協議会」を設置し、共同運用に係る協議を行い、「いわて消防指令センター」を整備する。

事業概要

○多重無線整備基本設計業務 13,783千円
指令回線のバックアップ用アプローチ回線を構築するため、多重無線整備の基本設計を実施
○いわて消防指令業務共同運用推進室運営費 461千円
いわて消防通信指令事務協議会の事務等を行う推進室の運営費負担金

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	八重樫晴彦
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

消防指令業務共同運用事業 14,244千円

- 多重無線整備基本設計業務 13,783千円
 - いわて消防指令センター（盛岡中央消防署庁舎）と当市消防本部を接続する指令回線のバックアップ用アプローチ回線として構築する多重無線設備の基本設計を実施する。
（内容） 多重無線整備に係る調査、検討及びシステム等の設計
消防救急デジタル無線不感地帯対策検討
消防救急デジタル無線運用検討
- いわて消防指令業務共同運用推進室運営費 461千円
 - 盛岡地区広域消防組合への負担金
（内容） 令和4年度推進室運営費 4,606千円
負担割合 1割（均等割：10消防本部により按分）

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	02	194090	消防拠点施設等整備事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		124,739	41,353		-83,386
財源内訳	国費	25,248	0		-25,248
	県費	0	0		0
	地方債	72,400	33,800		-38,600
	その他	8,100	0		-8,100
	一般財源	18,991	7,553		-11,438

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	令和2年度 ~ 令和5年度
------	--	-------	---	------	---------------

部重点施策における目標	市民の安心・安全な暮らしを火災や災害から守る。
-------------	-------------------------

事業開始の背景・経緯	消防体制の基盤強化を通じて、住民サービスの向上を図る必要があることから、消防施設等の計画的修繕を図りながら、消防車両を計画的に更新する。
------------	--

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○消防庁舎管理事業 8,107千円 消防本部庁舎ボイラー設備の経年劣化に伴う改修 消防本部庁舎空調設備改修工事実施設計業務 ○消防車両等管理事業 32,520千円 高規格救急自動車更新 1台（花巻温泉分遣所） ○消防指令体制管理事業 726千円 各庁舎卓上型無線装置バッテリー更新
------	--

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	佐々木勇人
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況	
-----------	--

事業手法の詳細1	<p>消防拠点施設等整備事業 41,353千円</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 消防庁舎管理事業 8,107千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防本部庁舎ボイラー改修業務【新規】 6,050千円 ・消防本部庁舎空調設備改修工事実施設計業務 2,057千円 【起債】合併特例債 7,500千円 2. 消防車両等管理事業 32,520千円 <ul style="list-style-type: none"> ・高規格救急自動車更新 1台（花巻温泉分遣所） （内訳）備品購入費 31,075千円 無線移設委託費 1,395千円 自動車重量税 33千円 リサイクル料 17千円 【起債】合併特例債 26,300千円 3. 消防指令体制管理事業 726千円 <ul style="list-style-type: none"> ・卓上型無線装置バッテリー更新 726千円
----------	---

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	03	194130	消防団員育成強化事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		7,932	10,038		2,106
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	1,576	2,000		424
	地方債	0	0		0
	その他	4,300	4,500		200
	一般財源	2,056	3,538		1,482

特定財源の内訳					
事業期間		単年度繰返	○	期間限定	令和2年度 ~ 令和5年度

部重点施策における目標
市民の安心・安全な暮らしを火災や災害から守る。

事業開始の背景・経緯
消防団員の確保が年々難しくなっていることから組織等を再編し、今後の人口減少に対応可能な体制づくりを進めながら、団員が活動しやすい環境を整えるとともに現場活動において必要な資器材を整備し消防体制の充実強化を図る必要がある。

事業概要
<ul style="list-style-type: none"> ○消防団員への教育、研修 603千円 <ul style="list-style-type: none"> ・県消防学校に入校 0名（新型コロナ感染症感染対策により下記課程すべて中止のため） <ul style="list-style-type: none"> ①警防・機関科②現場指揮課程③初級幹部科④分団指揮課程 ・宮城県松島町消防団等への視察研修 参加幹部団員17名 ○消防演習の実施 2,401千円 <ul style="list-style-type: none"> 日頃の訓練成果を披露し、市民の防火・防災意識の向上を図るとともに消防団に対する関心を高め入団促進につなげることを目的に開催 ○活動装備品等の更新 7,028千円 <ul style="list-style-type: none"> 活動に必要な装備の更新整備（活動服上下、乙種半纏、ヘルメット、編上靴及び消防ホース等） ○消防団と事業所との連携体制強化 6千円

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	戸来 達也
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
<p>消防団員育成強化事業費 10,038千円</p> <p>1. 消防団員への教育、研修 603千円</p> <p>(1) 県消防学校への入校（当初予定23名） 0千円 消防団員を消防学校に派遣し、自動車及び小型ポンプの運用技術・最新の火災防ぎょ技術・現場における指揮要領を習得させる。 →新型コロナウイルス感染症への感染防止対策のため下記の課程すべて中止。 ① 警防・機関科（警防要員・機関要員）0名（当初予定6名） ② 現場指揮課程（班長以上の階級）0名（当初予定6名） ③ 初級幹部科（班長の階級）0名（当初予定6名） ④ 分団指揮課程（分団長又は副分団長の階級）0名（当初予定5名）</p> <p>(2) 消防団幹部視察研修 603千円 分団長以上の幹部45名中17名が参加し、今後の消防団組織の在り方、消防団員の処遇、装備品の整備状況など他消防団の取り組みについて視察研修を行う。</p> <p>2. 消防演習の実施 2,401千円 日頃の訓練成果を市民に披露し、また、演習の実施により防火意識の高揚を図る。 (1) 会場設営業務委託等 1,628千円 ①会場設営 1,067千円 ②除草業務 468千円 ③煙火打上 93千円 (2) 参加団体謝礼 20千円 (3) 訓練消耗品等 434千円 (4) 送迎バス借上 319千円</p> <p>3. 活動装備品等の更新 7,028千円 経年劣化や現場活動による破損等により、修繕不能となった装備品の更新を行い、消防団員が活動しやすい環境を整える。 (1) 現場活動用資器材の更新（消防ホース 80本、背負い式消火水のう 84基）4,730千円 (2) 被服等の貸与 2,298千円 （半纏等乙種被服・編上靴・ヘルメット・活動服・ラッパ隊制服等）</p> <p>【歳入】消防団員確保対策補助金（県補助金）：補助対象経費の1/2(補助上限額2,000千円) 補助対象経費 4,730千円×1/2=2,365千円 補助額 2,000千円</p> <p>4. 消防団と事業所との連携体制強化 6千円 被雇用者団員の割合が高くなっていることから、従業員に対する入団促進や勤務時間中の消防活動へ理解と協力を得るとともに、「消防団協力事業所」の加入要件を満たす事業所の掘り起こしと、募集や加入事業所に対する表彰を行う。</p>

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	04	194180	消防団施設等整備事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		51,300	36,643		-14,657
財源内訳	国費	0	1,771		1,771
	県費	424	5,470		5,046
	地方債	43,500	25,400		-18,100
	その他	0	0		0
	一般財源	7,376	4,002		-3,374

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	令和2年度 ~ 令和5年度
------	--	-------	---	------	---------------

部重点施策における目標
市民の安心・安全な暮らしを火災や災害から守る。

事業開始の背景・経緯
火災をはじめ風水害、地震等の災害から市民を守るため、消防団員の活動拠点となる消防屯所や消防車両等の整備の整備は重要である。このことから、施設の長寿命化を図りつつ、団員の活動に支障を来さないためにも、計画的に更新整備を進めている。

事業概要
○消防団施設の整備 18,282千円 (うち繰越明許費5,863千円) 消防屯所耐震補強・改修工事 第11分団第2部(大迫・亀ヶ森) 消防屯所新築工事設計業務委託 第12分団第2部(石鳥谷・交番跡地) <R3→R4繰越事業> 消防屯所耐震補強及び改修工事 第16分団第1部(石鳥谷・五大堂) ○下水道接続業務委託 1,430千円 消防屯所下水道接続業務委託 第7分団第2部(花巻・北笹間) ○消防団車両等の整備 16,931千円 小型動力ポンプ積載車1台(14-4)、小型動力ポンプ1台(配備先は、小型動力ポンプ積載車と同一)、 消防無線装置(携帯型)127局

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	戸来 達也
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
消防団施設等整備事業 36,643千円(うち繰越明許費5,863千円)
1. 消防団施設の整備 18,282千円(うち繰越明許費5,863千円) (1) 第11分団第2部(大迫・亀ヶ森)消防屯所耐震補強・改修工事 (工事設計業務委託費2,310千円、工事監理業務委託費693千円、工事費8,283千円) 耐震補強・改修工事が完了した。 (2) 第12分団第2部(石鳥谷・交番跡地)消防屯所新築工事設計業務委託 (工事設計業務委託費1,133千円) 工事設計業務が完了した。 (3) 第16分団第1部(石鳥谷・五大堂)消防屯所耐震補強及び改修工事(R3→R4繰越事業) (工事監理業務委託費473千円、工事費5,390千円) 耐震補強及び改修工事が完了した。
2. 下水道接続業務委託 1,430千円 第7分団第2部(花巻・北笹間)消防屯所下水道接続業務委託 下水道接続業務が完了した。
3. 消防団車両等の整備 16,931千円 (1) 消防ポンプ自動車更新 1台 第7分団第2部(花巻・北笹間) 25年経過 0千円 車両(シャシ)の生産が見込めないことから減額した。 (2) 小型動力ポンプ積載車更新 1台 9,680千円 ① 第14分団第4部(石鳥谷・小森林) 25年経過 9,680千円(吸管固定型) 車両更新が完了した。 ② 第7分団第4部(花巻・中笹間) 29年経過 0千円 車両(シャシ)の生産が見込めないことから減額した。 (3) 車両更新手数料、自賠責保険及び重量税 1台 51千円 (手数料10千円、保険料8千円、重量税33千円) (4) 小型動力ポンプ更新 1台 1,870千円 配備先は、小型動力ポンプ積載車(14-4)と同一 1台 1,870千円 ポンプ更新が完了した。 (5) 消防団無線装置(携帯型)127局 5,330千円 (無線携帯局5,315千円、開設届業務委託15千円) 無線装置の導入が完了した。

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	04	194190	消防水利維持管理整備事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		55,551	47,769		-7,782
財源内訳	国費	0	4,427		4,427
	県費	4,812	0		-4,812
	地方債	29,700	23,700		-6,000
	その他	14,200	11,600		-2,600
	一般財源	6,839	8,042		1,203

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	令和2年度 ~ 令和5年度
------	--	-------	---	------	---------------

部重点施策における目標

市民の安心・安全な暮らしを火災や災害から守る。

事業開始の背景・経緯

消防水利が不足する地域を解消するため、消防水利の基準と地域特性を考慮した計画的な整備と維持管理を進める。

事業概要

- 消火栓及び防火水槽維持管理事業 13,879千円
 - 消火栓保守点検及び維持管理 2,065基
 - 消火栓一般修繕
 - 防火水槽等維持管理
- 消火栓整備事業 24,991千円
 - 水道配水管敷設替えに伴う消火栓設置 24基
 - 消火栓移設（東和町土沢地内）1基
- 経年防火水槽調査事業 8,899千円
 - 経年防火水槽調査業務委託 8基
 - 防火水槽清掃・汚泥除去業務委託 8基

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	佐々木勇人
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 消防水利維持管理整備事業 47,769千円
1. 消火栓及び防火水槽維持管理事業 13,879千円
 - (1) 消火栓維持管理 12,917千円
 - (内訳) 消火栓維持管理負担金 (2,065基) 5,588千円
 - 消火栓一般修繕分負担金 7,129千円
 - 消防活動時使用水量分負担金 200千円
 - (2) 防火水槽等維持管理 962千円
 - (内訳) 無蓋防火水槽維持管理業務委託 284千円
 - 消防水利標識の購入・印刷 578千円
 - 防火溜池等補修資材の購入 100千円
 2. 消火栓整備事業 24,991千円
 - (1) 水道配水管敷設替えに伴う消火栓設置 (24基) 23,848千円
 - 岩手中部水道企業団が行う水道配水管敷設替えに併せて消火栓を更新又は移設する。
 - 【起債】緊防債 21,900千円 (本館二丁目1基、大瀬川2基、富沢1基、大興寺1基、北寺林6基、田力8基、葛2基)
 - 合特債 1,800千円 (本館一丁目1基、田力1基、下根子1基)
 - (2) 消火栓移設 (1基) 1,143千円
 - 地域住民からの交通障害となる消火栓移設要望により実施する。(東和町土沢地内)
 3. 経年防火水槽調査事業 8,899千円
 - (1) 経年防火水槽調査業務委託 (8基) 6,666千円
 - 耐用年数50年を経過した防火水槽に対し、機能調査を実施する。
 - (2) 防火水槽清掃・汚泥除去業務委託 (8基) 2,233千円
 - 防火水槽内部の清掃及び汚泥を除去し、調査環境を整えるため実施する。